# 飯南町立志々小学校

## 〇研究概要

### 1.研究主題

自ら課題を見つけ、主体的に学び合う子どもの育成 ~複式学級における算数科の授業づくりを通して~

## 2. 主題設定の理由

### (1)本校の学校教育目標から

本校の学校教育目標は、「進んで学び 豊かに関わり たくましく生きる 志々の子の育成」である。また、本年度の重点目標として「確かな学力と主体的な学びの育成」「豊かな関わりと思いやりの心の育成」「たくましい心と体の育成」をあげている。学年別に学ぶ算数科の授業づくりの研究を通して、学校教育目標の達成につながると考える。

#### (2)児童の実態から<個人情報削除>

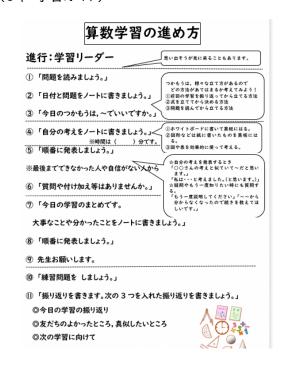
#### (3)これまでの研究実践から

本校では、令和元年から4年間、国語の「話すこと・聞くこと」の領域に焦点を当て、児童の主体的な学びを深めるための研究に取り組んできた。今年度はその研究の成果や課題をうけ、特に学年別指導に取り組む算数科の学習指導を通して研究を進めている。

## 3. 研究仮説

研究を通して	・かしこく・・・・筋道を立てて、分かりやすく説明ができる子ども	
目指す子ども	・なかよく・・・・友達と交流することを通して,考えを練り上げる子ども	
の姿	・たくましく・・・課題に向かって最後まで粘り強く取り組む子ども	
	複式学級の算数科学習指導において,ガイド学習による学び方を身に付け,数学的な見	
基本仮説	方・考え方を働かせるための指導の工夫をすれば、自ら課題を見つけ、主体的に学び合う子	
	どもが育つであろう。	
具体仮説 I		具体仮説Ⅱ
複式学級の特性を生かした指導方法の工夫や学		数学的な見方・考え方を働かせるための手立てを
習環境づくりをすることで、自ら課題を見つけ、主体		工夫することで,自ら課題を見つけ,主体的に学び合
的に学び合う子どもの育成につながるであろう。		う子どもの育成につながるであろう。
		   〈具体的な取組(①: 既習事項との関連〉
・学習のパターン化		  ・6年間の系統性を踏まえ、既習事項を視覚的に示す
・ガイド学習における学習リーダー、フォロワー育成		・既習事項との関連を意識させる学習課題の提示
・ICTの効果的な活用		  〈具体的な取組②:図や言葉を用いて説明する〉
		  ・要約学習の取組など,自らの考えを整理し,説明で
・子どもの手がかりとなる掲示物やカード等による支		きる力の育成
援		│ ・タブレット,ホワイトボードを効果的に活用し,考えを
・集中して学習に向かうことができる座席配置のエ		図式化するツールの工夫
夫		・学びを積み重ね,ふりかえることができるノート指導

#### (6年 学習ガイド)



## (3・4年 学習ガイド)

1			
/	②小数   リーダー( )		
(8)	ノートの用意をしましょう。		
0	問題を読む。教科書3ページ <ul><li>ジョン・ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		
先生	前とちがうところは? めあてを作る。「~~~~でいいですか。読みましょう。」		
@	自分の考えをノートに書く。 発表の準備をする。 (ホワイトボード)		
\$	順番に発表する⇒★学び合いタイム★ ②分からないことを かいけつする。  ○大事なポイントを 見つける。  ・どこがはずかしかった ですか。 ・しつもんはありますか。 など ・とう一度問題を読んで みましょう。など		
第先生	学習のまとめ,大事なことを書く。⇒発表する。 練習問題 教科書4ページ③④△   △2△3 ⇒答え合 わせをする。		
3	アンケートに答える。		